

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。 □の数字は、教科書のページ数です。

1年 ひきざん

□ 76～87

- 14－8, 13－6のような、くり下がりのあるひき算ができるようにします。

〈計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 14 - 8 \\ \underline{10} \quad 4 \end{array} \quad \begin{array}{l} (1) 14を10と4に分ける。 \\ (2) 10から8をひいて2。 \\ (3) 2と4で6。 \end{array}$$

ひかれる数を
10といくつ、に分ける
ことがポイントだよ。



くり上がりのあるたし算やくり下がりのあるひき算は、上の学年での筆算で使われます。ひき算カードなどで、しっかり練習させましょう。

2年 かけ算(1)

□ 2～20

- かけ算の意味と式の表し方を知り、5のだん、2のだん、3のだん、4のだんの九九の練習をします。特殊な唱え方をする九九(二二に二が4, 三三に三が9など)は、特に注意しましょう。

〔注意〕 2×5と5×2のかけ算の式の意味のちがいに気づかせましょう。

$$1 \text{ つ分の数} \times \text{いくつ分} = \text{全部の数}$$

(かけられる数) (かける数)

九九の暗記が嫌いになってしまわないように、しからず、「九九の表を見てごらん。」などと、繰り返し声かけをしましょう。

答えは同じ
だけど、式の
意味がちがう
のね。



3年 円と球、小数

□ 下2～27

- 円と球の性質や、円と球の中心・半径・直径の意味や性質について学習します。
- 水のかさや数直線を使って小数を学習し、たし算やひき算を筆算で計算できるようにします。

〈小数の計算〉

$$\begin{array}{r} 2.6 \\ + 1.8 \\ \hline 4.1 \end{array} \quad \begin{array}{r} 3.3 \\ - 1.8 \\ \hline 1.5 \end{array}$$

↑↑↑
一小小
の数数
位点第
一位

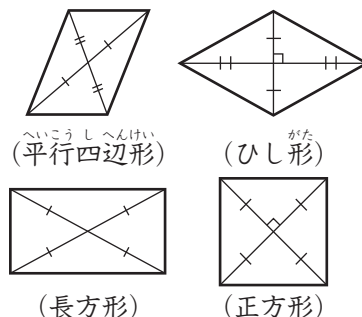
1. 位をそろえて書く。
2. 整数のたし算やひき算と同じように計算する。
3. 上の小数点にそろえて、答えの小数点をうつ。

4年 垂直、平行と四角形

□ 14～32

- いろいろな四角形の意味と特ちょう、かき方を知り、対角線の交わり方がわかるようにします。対角線は、四角形の向かい合った頂点をつないだ直線です。

〈四角形の対角線〉



ひし形は、形も
大きさも同じ4つ
の直角三角形に
分けられるよ!



5年 平均、単位量あたりの大きさ

□ 18～38

- 平均の意味を知り、単位量あたりの大きさの考え方をを使って、こみぐあいや速さなどが比べられるようにします。

平均…いくつかの数や量を等しい大きさになるようにならしたもの。

$$\text{平均} = \text{合計} \div \text{個数}$$

こみぐあいの比べ方① 1 m²あたりの人数で比べる。

② 1人あたりの面積で比べる。

人口密度… 1 km²あたりの人口のこと。国や都道府県などに住んでいる人のこみぐあいを表す。

$$\text{人口密度} = \text{人口} \div \text{面積}$$

6年 比例と反比例

□ 150～172

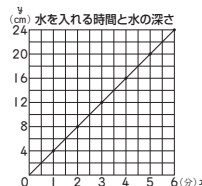
- 比例と反比例の性質・式・グラフを学習します。

〈比例〉

性質… xの値が□倍になると、
yの値も□倍になる。

式… yがxに比例するとき、
xとyの関係は、
 $y = \text{きまった数} \times x$

グラフ



〈反比例〉

性質… xの値が□倍になると、
yの値が $\frac{1}{\square}$ 倍になる。

式… yがxに反比例するとき、
xとyの関係は、
 $y = \text{きまった数} \div x$

グラフ

